

# 千里の風

No.11

2013年度歴史教育者協議会

全国大会・大阪

大会速報「千里の風」

編集・発行：現地実行委員会

## ⑩ 大企業とのたたかい

◆差別の根絶を目指す為に勇気ある一歩、その精神を定着させていくとともに、もう一度日本国憲法や男女共同参画社会基本法を学び直し、さらに前向きでありたい。貴重な体験（大きな大きな一歩＝戦う意味）を聞かせていただき、本当にありがとうございました。（60代男性）

◆当事者のお二人にお話を聴くことができ本当に良かったです！！ぜひ、勤務校にゲストスピーカーに来ていただきたいと強く思いました。正社員のお二人が裁判まで持つていくのも本当に大変だと思うのですが、現在3人に1人が、女性なら2人に1人が非正規雇用と言われているので、企業としてはこれからもっとひどい差別をおこないやすい状況なのかもしれません。今、女子校に勤めているため、現状をきちんと生徒に伝え強く生きていかせるようにしたいです！！（20代女性）

## 地域に学ぶ集い

その2



## ⑪ 「アラブの春」とは何だったのか？

◆「どうしてそうなったのか」がよくわかる講演でした。「アラブの春」を一言で言ってしまうとアラブの国々全てに何か良いことが起こったように感じてしまうけれど、バーレーンやシリアでは果たして本当に「春」だったのか？まだ春は来ていないのでは？と思いました。山本美香さんが亡くなった時にも思いましたが、メディアは「山本美香さんの死」に焦点を当てはしても、山本さんが伝えたかった「シリアで何が起きているのか」はあまり伝えていなくて、今回の講演でメディアを全てそのまま信じるのはダメなのだと再認識しました。（20代女性）

## ⑫ 教科書問題

◆僕さんのお話で教育全体が（＝日本の未来が）大変な危機的状況にあることがずしんときました。経済や原発と違って日々の生活にひびかないことだけに、ふつうの市民には危機感が持てないテーマですが、それだけに大きな運動をつくることはますますむずかしいでしょう。憲法改悪反対運動、反原発の運動や反TPPの運動などと結びあってがんばりましょう。（神奈川・50

代男性)

### ⑬ 被災地東北は今

◆被災地に共通するのは、まさしく憲法の課題である。生存権、幸福追求権、住民自治…こうした課題が問われていると改めて感じる。だからこそ、水俣に学ぶ必要があると強く感じています。(福島・40代男性)

◆恥ずかしながら震災の事は自分の中で消化していた事に今更ながら気づいた。しかし、だからこそ、今日のお話を聞けて良かったと思うし、行政の考えや施策にあきれました。特に“学力向上”の名の下、無駄な負担を児童にかけている事について、福岡の糟屋郡の小学校でも「学力テスト」の弊害を少なからず受けているので、腹が立ちました。とにかく、まだまだ知らない事が多すぎるので、これから情報を収集し、学んでいこうと思います。(福岡・20代男性)



「④よみがえれ大和川」での報告

速報用メール  
アドレスに投稿

## 大阪大会の参加者

# 682名

## (8/4 10:00現在)

大阪大会実行委員会の発表によれば、本日の午前10時現在の大会参加者は682名になりました。初日の2日は、593名に修正されました。

参加者のうち、会員・教員で年齢の判別される人数は551名で、その年齢別の内訳は以下のとおりです。

- 20歳以上 12.0% (実数66人)
- 30歳以上 9.4% (実数52人)
- 40歳以上 11.6% (実数64人)
- 50歳以上 32.7%
- 60歳以上 26.7%
- 70歳以上 7.6%

### 深く広い内容

### 学校・地域での活動を交流

長野・飯島さんのお話に驚きました。「国体護持」の実態を伝える、松本の松代大本営を生徒達と調べ、保存させてきた方でした。満州開拓団だった祖父母・曾祖父母に聞き取りながら、一人一人のルーツやいきさつを明らかにしていく篠ノ井での実践にも感嘆しました。

琉球大学で平和ガイドをしていた松田浩史さんが、愛知の高校の先生になり、沖縄を学び、沖縄・愛知の高校生がつながっていく実践もすばらしいものでした。「平和のための戦争展」を若い世代に広げ、充実させようと、千葉・小林光代さんと大阪堺の交流ができました。平和学習の成果を展示し、戦争展の成果を教育に活用しよう、子どもたちが活躍する戦争展へ努力しようなど、話し合いました。被爆者の長崎・末永浩さんの手作り紙芝居や、東京高校生平和ゼミナールを支え続けている中出律さんの粘り強い活動など、さすが歴教協の平和活動と感じる、多彩な学ぶことの多い1日目でした。